

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和2年3月12日

事業所名 児童発達支援センターひかり園

職員数：22名 配布数：12名 回収数：10名 割合：83%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			・利用定員について基準に沿ったスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	5	制度上の配置基準満たしている。職員体制を考慮し、柔軟にクラス指導から全体指導に療育内容を変更することもある。	・法令で必要とされる配置数に加え、非常勤職員を配置しています。しかし、業務の多様化により、兼務の職員もいるため、職員体制を流動的にせざるを得ない時もあり、今後も検討していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	3	わかりやすく主体的に行動できるように導線はクラスごとに工夫している。 バリアフリー化は不足している。	・園庭が2ヶ所あり、表園庭は乗り物遊び、裏園庭は砂遊びや総合遊具を使用して遊ぶなど安全面の配慮をしながら環境設定をしています。安全領域の確保や一部修繕など総合遊具の改修を行なっています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10		建物の老朽化構造上の課題はあり、パーテーションの利用など安心できる整理された空間作りを工夫している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	2		・指導者会議・ケース会議・学習会等で支援内容の振り返りや見直し検討を行なっています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10		非常災害について不安の声があり、緊急時一斉メールでお知らせする。（テスト配信を数回行なう）津波を想定しての避難訓練を光小学校と連携し合同訓練を行なう。	・評価表を用いて保護者への意向の把握を行ない改善に繋げていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	2	2019年度からHPにて公表している。また、閲覧できるようにしている。	・自己評価結果を園のHPにて公開します。 ・保護者及び事業所内の2者評価をとっています。頂いた貴重な意見をよりよい支援の提供に繋げていければと考えています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2		第三者評価制度の導入については今後検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	1	講演会や事例研修会など計画している。研修報告を行ない職員間で研修内容を共有している。	・園内研修だけでなく、職種や経験に応じた研修に派遣し専門性を高めます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	共通のアセスメント表を用いて、	・前期・後期とアセスメントやモニタリングを行ないます。発達検査や行動評価を通して、子どもの発達や特性に即した支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	支援計画に反映させている。		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10		・障害児支援利用計画やアセスメントした情報をもとに課題整理を行ない、【身辺自立】【からだ・運動（粗大・微細）】【言葉・対人関係】【遊び】の項目に沿い具体的な短期目標や支援内容を検討後、作成しています。家庭支援についても具体的な内容を明記しています	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10		・活動内容については、年間療育目標、前期・後期の支援目標に沿い、リーダー会議、クラス会議、年長会議とそれぞれクラスの枠を超え全職員で意見を出し合い、活動プログラムを立てています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	クラス会議等で検討し、立案を行っている。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	子どもたちの興味や発達段階等を踏まえながら柔軟に活動プログラムを立てている		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	10	状況に応じて個別対応が必要なときは支援している		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	朝礼時に職員体制を把握し、活動内容をクラス別に確認。日課の流れに沿い、職員の動きや役割を決めている	・終礼で実施し職員間で情報共有を行なっています。また、会議（ケース・指導者会議等）で、クラス運営や子どもの評価、支援の在り方等について話し、充実した支援に繋がるよう努めています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1	振り返りを毎回行うことは難しいが、関わりの困難さや気づきなどがあればクラス内でタイムリーに確認し話し合う。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	活動内容や個々の子どもの姿を療育日誌に記録している。日誌やケース記録をもとに学期ごとに【療育のまとめ】として支援の検証を保護者の方に支援のねらいや療育内容の今後の展開等についてお伝えし理解を得ています。		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	支援の見直しとして「あゆみ」を作成し、保護者と子どもの成長や課題を共有し支援計画に繋がっている	・前期・後期のモニタリングのひとつとして、「あゆみ」をもとに保護者との個別懇談実施し、子ども理解を共有しています。		

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9				
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9			・こども発達支援センターや障がい福祉課、ネウボラ課等と必要に応じて情報共有や相談、報告を行ない適切な支援を行なえるよう努めています。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	1			・現在、医療的ケアの必要な子どもは在籍しておりません。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4		医療的ケア児ではないが、関わっている医療機関とは、保護者を通して情報を得ることが多い		
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8				・移行がスムーズに行なわれ、充実し安定した生活がおくれるように子どもの特性や状態像について丁寧に伝え連携を行なっています。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		子どもの特性や課題など支援について伝えている。引継ぎという形で行うことが多い		入園する児童についても、児童発達支援事業所等から引き継ぎを行ない、適切な支援に繋がっていきます。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		研修会や公開療育などセンターや事業所の職員と学びあう機会には積極的に参加している		
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3	年に1度、隣接している小学校の1年生と年長児と交流している (他の保育所と合同)		・小学校の交流行事に参加することで、子ども自身入学に向けて期待や見通しがもて継続して取り組みます
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	3	福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会や療育支援事業の会議に参加している		
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		おたより等で随時、子どもの状況を伝えている。懇談や支援計画で課題や支援について伝え共通理解ができるようにしている		懇談や親子教室、参観日などを通して子どもの関わりや発達について伝えています。子育て支援に繋がっています。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	2			・家族支援プログラムについては職員の研修は継続していきますが、保護者に向けた家族支援プログラムは今後検討していきます。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		入園説明会で契約をして頂くときに行なっています。また必要に応じて説明をしています。
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		・家庭訪問や懇談を設けて説明をしています。
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	連絡帳でのやりとりや懇談などを通して適宜対応している。園だより・クラスだより・年長だより・事務所だよりを発行し情報提供している。	・保護者同士が交流できる場として静養室を開放し、保護者会活動に利用されています。保護者会活動は保護者主体ではありませんが、
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	パパ会・ママ会が開催され職員も参加し気軽に話せる交流の場をつくっている	協力や支援はしています。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	相談事など返答に困ったときは他の職員に確認し、迅速に対応できるように努めている	・気軽に相談できる信頼関係を構築しながら、子どもの育ちへの願いや子育ての不安や悩みを受け止められるようにタイムリーに話し合いができるように努めています
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	園だより、クラスだより、週に1回のおたよりなどで、随時子どもの様子や園のことを伝えている。	・療育活動や行事のねらいをたよりで知らせ、保護者の方が見通しをもてるように工夫しています
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	注意している。特定しやすい情報は伏せている	・取り扱いについては、同意を得てから関係機関と連携しています また、入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ています。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	その子自身や背景など総合的に把握し、伝え方を配慮している	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	招待ではないが、民生委員の方にボランティアとしてご協力いただいている 啓発活動の一貫として中学生の職業体験実習の受け入れをしています。散歩や園外活動では、近隣の方々に声をかけ自然な形で交流できるように努めています。
	非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	マニュアルは策定しているが、周知までには至らない。 火災を想定しての避難訓練を定期的に実施している。
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	津波を想定しての避難訓練を光小学校和合同訓練を行なった。	継続して合同訓練を実施していく予定です。避難時の物資について

	か				備蓄品・保管場所について検討しています。
⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10			・新年度に調査票による園児の健康状態の把握をし、職員間で共有しています。
⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9			また、食物アレルギーに関しては・医師の指示書のもと除去食など対応しています。
⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			・日々終礼時に「ひやりはっと」の確認をしています。具体的な対応策を検討し、事故防止意識を高めています。また安全点検日を定め、危険個所の改善に努めています。
⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		「こんな場面ありませんか」という具体的な事例をもとにグループワークで取り上げた。不適切な行動を確認し、支援姿勢について自為とは、どんな声かけや関わり方が適切であるか等意見交換をする場を設けた。職員の心理状況なども	・年度はじめに「倫理要綱」の読み合わせなど職員としての心得などを確認し、支援姿勢について自ら考える機会にしています。 ・虐待防止啓発のための研修会に参加し、研修報告が学習の場になっています。
⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9		室内の鍵については、安全面と指	・鍵については全体指導の時の安
				導に必要な場合にかけることを保全面的配慮のためかけることもありますが、隔離のためにすることはありますが、身体拘束することはありません	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成30年 月 日

事業所名 \_\_\_\_\_ 保護者等数（児童数） \_\_\_\_\_ 名 回収数 \_\_\_\_\_ 名 割合 \_\_\_\_\_ %

	チェック項目	はい	どちら		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			ともいえない	いいえ			
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか						
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか						
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境iになっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか						
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか						
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ii が作成されているか						
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか						
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか						
	⑧ 活動プログラム iii が固定化しないよう工夫されているか						
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか						
への保護者説明	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか						
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児						

		<p>「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか</p>					
	⑫	<p>保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか</p>					
	⑬	<p>日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について 共通理解ができているか</p>					
	⑭	<p>定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか</p>					
	⑮	<p>父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか</p>					
	⑯	<p>子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか</p>					
	⑰	<p>子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか</p>					
	⑱	<p>定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか</p>					
	⑲	<p>個人情報の取扱いに十分注意されているか</p>					
非常時等の対応	⑳	<p>緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか</p>					
	㉑	<p>非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか</p>					

満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか						
	㉓	事業所の支援に満足しているか						

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。